

1 策定の趣旨

世界では

モノのインターネット (IoT)
人工知能 (AI) ビッグデータ
～ 想像を超えるスピードで技術が進歩 ～

国では

地域IoT実装推進ロードマップ(H28)
世界最先端IT (デジタル) 国家創造宣言
・官民データ活用推進基本計画 (H29)
～ 地方公共団体でのICT活用を推進 ～

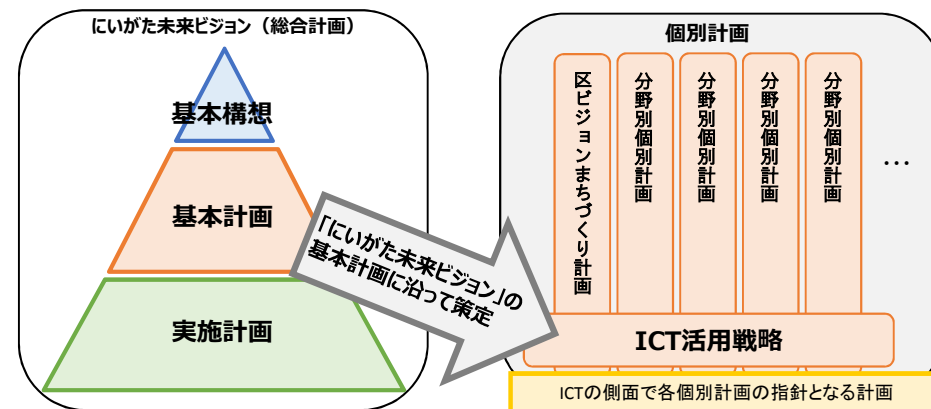
「新潟市ICT活用戦略」

～ 課題解決のための重要な手段 ～
～ ICT活用の方向性を示す指針 ～

2 位置づけと期間

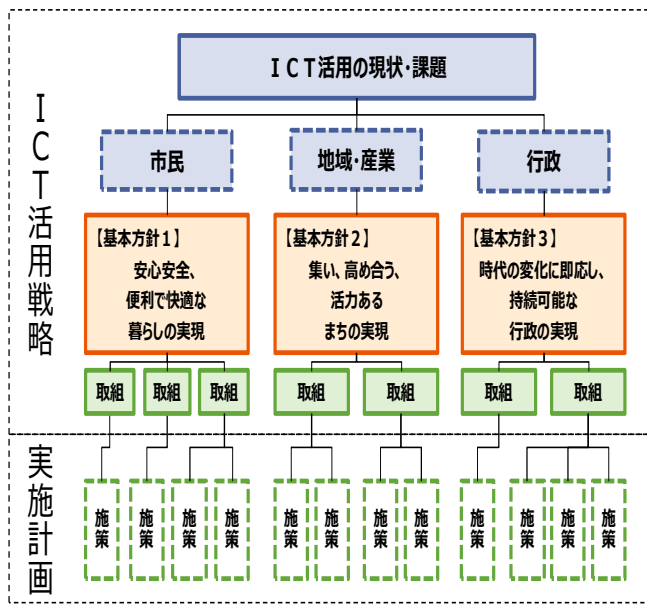
上位計画「にいがた未来ビジョン」に基づくICT戦略
本市のICT活用を推進、職員の意識改革を図る

計画名	年度									
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
にいがた未来ビジョン	[Yellow arrow spanning all years]									
ICT活用戦略			[Yellow arrow spanning 2019-2022]				[Yellow arrow spanning 2023-2025]			
ICT活用実施計画			[Yellow arrow spanning 2019-2020]		[Yellow arrow spanning 2021-2022]		[Yellow arrow spanning 2023-2025]			



3 構成

<市民> <地域・産業> <行政>
3つの観点で基本方針と取組みを設定



4 具体的な取組み

観点	基本方針	取組	施策例 (ICT活用実施計画で具体的に記載)
市民	安心安全、便利で快適な暮らしの実現	福祉・保健・医療サービスの拡充	・医療、健康情報の一元管理PHRで福祉サービス全般の質向上 ・にいがた子育て支援アプリなど、子育てを産み育てやすいサービス拡充
		防災・防犯対策の強化	・Lアラートなど、災害情報共有システムの拡充 ・児童、高齢者の見守りへのIoT技術活用
		行政手続きにおける利便性の向上	・公金収納チャンネルの多様化 (電子マネー、マルチイメトサービスの活用) ・マイナンバーカード活用などによる窓口手続きの電子化
		生活情報の提供拡大	・広報紙をはじめとした情報発信をスマホなど多様な閲覧環境へ展開 ・SNS、コミュニケーションアプリ、社会のニーズを押さえた情報提供
地域・産業	集い、高め合う、活力あるまちの実現	まちの活力を醸成する環境の整備	・IoTなどの先端技術推進へのテストベッド環境構築 ・公衆無線LAN「Niigata City Wi-Fi」の整備
		地域経済・産業の活性化と新展開の推進	・先端技術を活用したビジネス創出への支援 ・ICT教育プラットフォーム整備、プログラミング教育の推進
		魅力の発信による交流の拡大	・観光情報発信へAR・VR技術の活用展開 ・空港や駅などの玄関口でAIロボットやAR活用による“おもてなし”
行政	時代の変化に即応し、持続可能な行政の実現	業務改革の推進	・働き方改革に向けたテレワーク技術導入などのICT活用 ・総務事務システム導入など、内部事務の効率化
		効率的かつ安定的な行政運営の維持	・ICTガバナンス改善、ICT人材の育成 ・共通基盤システム、自治体クラウドなど、システムの最適化
		情報セキュリティの確保	・最高情報セキュリティ責任者を中心としたセキュリティ管理体制の構築 ・災害時などに対応する情報システムの業務継続体制構築